

# 太田道灌ゆかりの地めぐりコース

**川越駅** 徒歩距離 約7.1km  
所要時間 約2時間22分

**本川越駅** 徒歩距離 約5.6km  
所要時間 約1時間52分

施設の見学時間は含まれません

太田道灌が築城したといわれる川越城の史跡や現存する建物をめぐりながら、その足跡を訪ねるコースです。

シーズン：通年  
移動手段：徒歩



**7 道灌橋**



車一台がやっと通れる程度の小さな橋の名は、太田道灌の屋敷が近辺にあった事に由来しています。欄干には道灌が詠んだ和歌のレリーフが飾られています。

**1 連雀町山車保管庫(熊野神社内)**



熊野神社境内に保管されている連雀町の山車は「道灌の山車(どうかんのだし)」と言われ、川越の山車の中では最も横幅が広いものです。山車の蔵はガラス張りになっており、まつりの日以外でも見学できます。

**1 連雀町山車保管庫(熊野神社内)**



熊野神社境内に保管されている連雀町の山車は「道灌の山車(どうかんのだし)」と言われ、川越の山車の中では最も横幅が広いものです。山車の蔵はガラス張りになっており、まつりの日以外でも見学できます。

**2 川越市役所**

開門時間午前9時～午後5時



**3 川越城中ノ門堀跡**



**4 川越城本丸御殿**

049-224-6015



**5 川越市立博物館**

049-222-5399



**6 川越氷川神社**



太田道真・道灌父子は川越氷川神社を厚く信奉しました。江戸時代に入ると藩の総鎮守として、歴代の川越藩主の篤い崇敬を受け続けました。1457年、道灌は和歌を神社に献納しています。

**4 川越城本丸御殿**

049-224-6015



川越城の歴史は1457年上杉氏の本拠地として、当主・上杉持朝が太田道真・道灌父子に築城を命じた事から始まります。本丸御殿の建造は1848年ですが、建物としては川越城唯一の遺構として貴重な価値をもっています。

**3 川越城中ノ門堀跡**

049-224-6097



現在の市役所付近に当たる西大手門側から本丸方向への敵の進入を阻むための堀で、堀跡としては唯一現在まで残る遺構です。近年整備工事が行われ、広場の設置や門の再現がなされています。

**5 川越市立博物館**

049-222-5399



かつての川越城二の丸跡に位置する博物館は、城下町に関わる資料や、蔵造りの町並みの模型など、充実した内容になっています。

川越駅	本川越駅
約1.4km 徒歩約28分	約0.7km 徒歩約14分
<b>1 連雀町山車保管庫(熊野神社内)</b>	
約1km 徒歩約20分	
<b>2 川越市役所</b>	
約0.2km 徒歩約4分	
<b>3 川越城中ノ門堀跡</b>	
約0.4km 徒歩約8分	
<b>4 川越城本丸御殿</b>	
約0.2km 徒歩約4分	
<b>5 川越市立博物館</b>	
約0.5km 徒歩約10分	
<b>6 川越氷川神社</b>	
約0.7km 徒歩約14分	
<b>7 道灌橋</b>	
約2.7km 徒歩約54分	約1.9km 徒歩約38分
<b>川越駅</b>	<b>本川越駅</b>

市街地エリアで通年楽しめるコース

入館料、開館時間、定休日等は、各施設にお問い合わせ下さい。